

連携医院のご紹介



広島がん高精度放射線治療センター外観

広島がん 高精度放射線 治療センター

〒732-0057
広島市東区二葉の里三丁目2番2号
電話/082-263-1330
FAX/082-263-1331



○開設にいたる経緯などを改めて教えてください。

がん治療で大きな役割を担う高精度放射線治療に対するニーズを踏まえて、県立広島病院等の広島市内の基幹病院の機能分担・連携に基づく先駆的な取組として、平成27年度に開設したところです。

開設から、徐々にセンターの機能・役割に対する理解も深まり、治療実績も増加しつつあります。

○センターの特長を教えてください。

県内トップレベルの医師・スタッフとともに、最新の治療装置を導入し、生活スタイルを変えずに通院しながらがんを治す、身体的にも精神的にも負担の少ない先端的な放射線治療を提供できることです。

昨年、国際的な認定機関から東アジアで初めて世界水準の施設であると認定していただきました。また、患者様の適切ながん治療の機会を確保するため「がん相談外来」も開設しています。

○今後、力をいれて取り組みたいことはありますか。

さらに多くの患者様に利用いただけるよう、広島市内の基幹病院や県内外の医療機関との連携体制を強化していきます。

「体に優しく、質の高い放射線治療」を提供できるよう、県内の関係機関の連携に基づき、通院治療型の医療機関として設立された広島がん高精度放射線治療センター(HIPRAC)を訪問しました。

また、県内の医療従事者の人材育成や、装置の品質管理等の技術的支援を行っていきます。

○県立広島病院に期待する事は何でしょうか。

より効果的な治療の実施に向け、テレビ会議等による密接な連絡体制や緊急時の患者受入体制を築いていただき、感謝しています。引き続き、宜しくお願いします。



永田センター長 職員一同



ロゴマーク

【取材後記】

広島駅新幹線口の前という公共交通機関での来院がしやすい立地場所に加え、施設の内装も陽光を取り入れた明るく開放的なもので、患者さんが穏やかに治療に専念出来る施設と感じました。

県立広島病院からのお知らせ

病診連携談話会

開催日 平成29年 10月10日(火)

時間 19:00~20:30

場所 中央棟2階 講堂

テーマ 『知っておいてほしい産婦人科疾患』

座長 新甲さんえ女性クリニック院長/新甲 さんえ

講師 「急性腹症を疑ったら」
婦人科主任部長/三好 博史

「卵巣腫瘍について」
婦人科部長/白山 裕子

対象 医療従事者及びその関係者
問合せ先 地域連携センター

☎082-256-3562

がん医療従事者研修会

開催日 平成29年 11月14日(火)

時間 19:00~21:00

場所 中央棟2階 講堂

テーマ 『乳がん診療における最新のエビデンス』

総合司会 副院長/板本 敏行

座長 放射線治療科主任部長/和田崎 晃一

講師 演題1 『診断』

消化器・乳腺外科部長/野間 翠

演題2 『外科治療』

消化器・乳腺外科部長/松浦 一生

演題3 『内分泌・化学療法』

臨床腫瘍科部長/土井 美帆子

演題4 『放射線治療』

放射線治療科主任部長/和田崎 晃一

医療従事者 及び その関係者

総務課管理係(担当:種本)

☎082-254-1818 内線(4271)

もみじ

県立広島病院

〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号
県立広島病院で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)



理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

泌尿器科



主任部長
梶原 充

教えて
ドクター
Dr.¹²

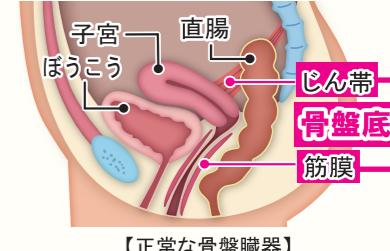
専門診療医による得意治療を紹介いたします。

人生、UP↑でいきましょう

～下がった骨盤臓器をアゲて、生活の質(QOL)もアゲてみませんか～

目尻、口角、二の腕、バスト、ヒップ。これらはカラダのエイジング(加齢による体型変化)により下がってくる代表パートです。しかし、女性の場合、もう一つエイジングとともに下がるものがあります。それは骨盤臓器(子宮、ぼうこう、直腸など)です。

今回は、骨盤臓器が下垂する病気について説明しましょう。



【正常な骨盤臓器】

Q 骨盤臓器脱とは？

骨盤臓器脱をご存知でしょうか。骨盤内にある臓器を支えている韌帯、筋膜、筋肉などの支持組織が弱くなって骨盤内臓器が腔内外に下垂してくる病気のことです。下垂・脱出してくる臓器によって子宮脱、ぼうこう瘤、直腸瘤などと呼ばれていました。これらが単独または同時に出現してきます。近年では骨盤臓器脱と総称されるようになっています。

Q 骨盤臓器脱の原因は？

出産や加齢、婦人科領域の手術などで、子宮、ぼうこう、直腸などの臓器を支えている骨盤の底の韌帯、筋膜、筋肉が緩むことが、骨盤臓器脱の原因です。過度の腹圧が慢性的にかかることで骨盤の底の韌帯、筋膜、筋肉が緩みます。慢性的な咳や習慣性の便秘、重い荷物を持つなどの労務、仕事、肥満、多産、加齢などが危険因子と考えられています。

Q 骨盤臓器脱は多くの人がかかる疾患ですか？

欧米では経産分娩を経験した女性の約3割に、スウェーデンでは出産を経験した女性の44%に骨盤臓器脱がみられたと報告されています。米国女性の11.1%が80歳までに骨盤臓器脱か尿失禁に對して手術を受けると報告されています。骨盤臓器脱の症状で困っても、恥ずかしい、治療法がない、どこに受診すればいいか分からぬといった理由で、一人で困っている人は多いと考えられます。

Q 骨盤臓器脱の症状は？

下腹部や膣の中に「何か」が降りてきたような違和感、会陰部に「何か」触れる、歩行や排便時など腹圧がかかった時の下垂感、不快感、立っていると頻尿になり、トイレに間に合わなくなるなどあります。これらの症状は一般的に午前中よりも活動した午後に多くみられます。進行すると、次第に尿や便が出しにくくなります。さらに膣壁が下着にすれて出血し、歩行も困難となります。

何かつりつりまたは
ぬるぬるしたものがいる

イスに座ると
何かが入る感じ…

トイレに行つても
あつきしない

下腹部に
違和感

夕方、股の間に
何かが
下がっている?

初

期

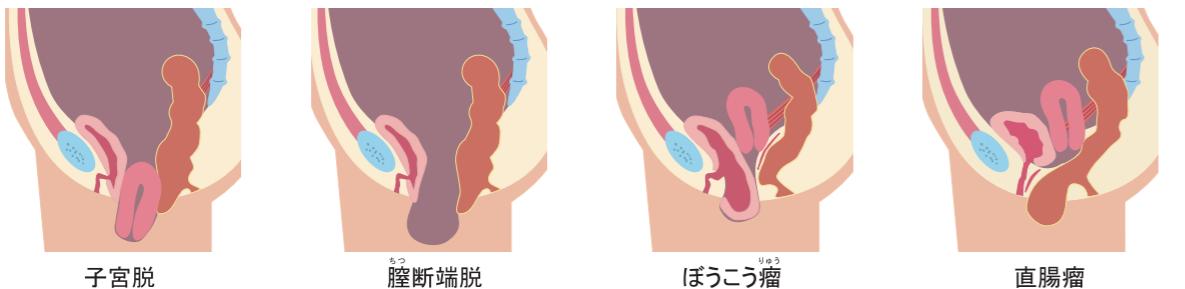
進行する…

次頁は治療法

Q 骨盤臓器脱にはどのようなものがありますか？

いままでは下垂・脱出してくる臓器によってぼうこう瘤、子宮脱、直腸瘤などと呼ばれていましたが、近年では骨盤臓器脱と総称されます。

骨盤臓器脱の種類



Q 治療はどのようなものがありますか？

薬物療法は無効で、治療の原則は手術療法となります。脱出が軽度の方や手術希望のない場合、対症療法としてリングペッサリーがあります。

手術治療

◆ 痛式子宮全摘術+前後壁形成術

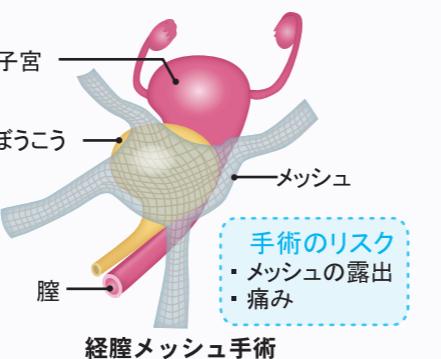
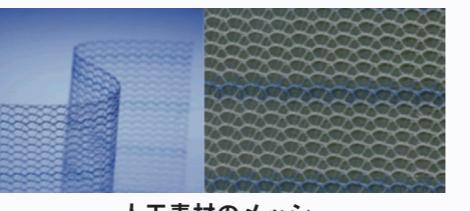
腔から子宮を摘出し、膀胱と腔の間の筋膜および直腸と腔を支える筋肉を縫い合わせて補強する術式です。今でもわが国では多くの施設で実施されています。縫い合わせて補強する方法はもともと傷んでいる組織を使うため30~40%の再発率があり、また子宮を摘出することも必要となります。

◆ メッシュ手術 (TVM手術と腹腔鏡下仙骨腔固定術)

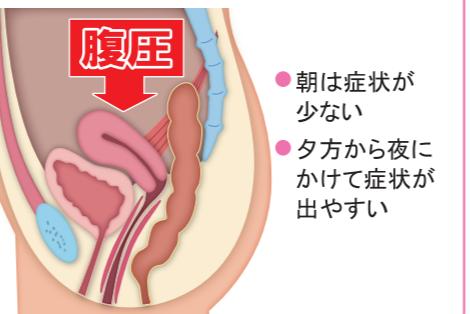
新しい術式として緩んだ筋膜や韌帯の代わりに人工の素材を用いて補強するメッシュ手術が開発され、主流になってきています。メッシュとは、人工素材のポリプロピレン（プラスチックの一種）を網状に縫い込んだ医療材料で、鼠径ヘルニア手術などで広く使われています。

TVM手術 骨盤臓器脱の原因は支持する韌帯、筋膜、筋肉が弱くなることですから、それらを補強することが本来の治療です。TVM手術は、緩んだ組織の代わりにメッシュを用い、ハンモックのように支える手術です。

TVM手術は健康保険の適応であり、当院での入院期間は約7日程度ですが、希望者は早期退院も可能です。



骨盤臓器脱の特徴



困った時は
当院泌尿器科へご相談下さい。

TVM手術は下がった骨盤臓器を骨盤内にアゲるのはもとより、排尿障害や排便障害の多くも改善させ、生活の質(QOL)をアゲることが立証されています。当院は2016年からTVM手術を導入しており、手術施行数は県内No.1で、中国新聞にも掲載されました(2017年4月19日)。

もし、骨盤臓器脱でお困りでしたら、ぜひ泌尿器科へご相談下さい。下がった骨盤臓器をアゲて、生活の質(QOL)もアゲてみませんか。

外科医の独り言... no.73

- 生物研究会 -

今年6月、3年ぶりに中学校の同窓会がありました。やはり学校の先生は長生きです。当時の担任の先生方の多くは80歳をはるかに超えた現在もご健在です。そしてなぜか中学校の同窓会にもかかわらず、小学校の時にお世話になったK先生の姿が見られるのもこの同窓会の恒例です。ところが今回の同窓会にK先生の姿はありませんでした。

お盆に同級生6人で集まってゴルフをしていた時です。同窓会の幹事だった1人が「K先生は、かなり弱っているらしい」と心配顔でこぼしました。しかし、大病したという話も聞かないし、とにかくお見舞いに行こうということになりました。

K先生の携帯に電話をしてみると、本人の口から細い声で「かなり弱っている」との返事でした。これで今生の別れになるかもしれない、とにかく最後のお別れだけでもしよう、ということで先生の家に向かいました。着くと、奥さん、娘さんと並んでK先生が玄関までお出迎え、あれっ? 息絶え絶えのところを枕もとでお見舞いするつもりで飛んできたはずが、意外に元気そうで良かったよかったです。元々腰を痛めていたところに、執筆活動が重なり、家に閉じこもっていたために足の筋力が落ちて、本当に歩けなくなってしまったことが同窓会欠席の理由だったようです。

K先生、奥さん、娘さんを囲んで出るわ出るわの昔話、とにかく昔のことをよく覚えておられます。私も知らなかった意外な新事実が明らかになりました。小学校5年、6年生は、K先生とT先生が担任の2クラスで、私は5年生からT先生のクラスでした。子供心には気付かなかったのですが、どうもK先生とT先生はライバル心むき出で仲が悪かったそうです。K先生の口癖は、勉強でも運動でもT先生のクラスに負けるな、だったそうです。一方、T先生のクラスでいつも怒られ、罰を受けていたのが私だったそうです。

また、寒い冬の朝に両手にバケツを持って廊下に立たされたことは覚えています。T先生の車のボンネットにあがって踊ったからでしょう。罰を受

けたのが1度や2度ではなかったので、K先生にも御心配かけたようです。私の遭遇を巡って職員室でT先生と喧嘩になったこともあったそうです。私を可哀そうだと思ったK先生は、下校途中の私を自宅に呼び込みスイカを食べさせてくれました。なぜかK先生の奥さんもこのことをよく覚えておられました。おそらく娘さんと一緒に食べたと推測されます。その娘さんも50歳過ぎ、目の前に座ってニコニコしながら私たちの話を聞いておられました。

昔話も後半に差しかかった頃、K先生が、「わしが一番うれしかったことは…」としんみりとお話を始められました。「板本君が生物研究会に入ってくれたことだよ」と、「えっ生物研究会? そんなのあった?」と同級生も顔を見合せました。K先生によると、6年生は放課後に部活動があり、仲の悪かったT先生のサッカー部とバレー部は大人気だったそうですが、K先生の生物研究会は人気がなく部員ゼロで、大変悔しい思いをしていたところに私が入部してきたそうです。

生物研究会と言っても実態は魚釣りだったようです。たしかに、K先生と二人で放課後によく川で魚釣りをしていたことを憶えています。そしてK先生曰く、「釣った魚の解剖を2人でよくやったけど、板本君は手際が良かったよ、君の原点は生物研究会だよ」と。いや、ただ魚をさばいていただけのような気がしますが、しかも学校の理科室でなくK先生のお宅で。しかしK先生がそう言われるのであればそうかもしれません。帰りには、奥さんに支えながらもK先生は玄関までお見送りに出てくださいました。固い握手をして別れた私たち6人の目には涙があふれていきましたが、当時私はサッカー部のキャプテンをしており、生物研究会に入部した覚えがないことをK先生にはこれからも内緒にしておこうと思っています。



副院長(消化器センター副センター長 / 消化器・乳腺・移植外科主任部長) 板本 敏行

カンファレンスの内容をお伝えします!

うえぽーと 脳心臓血管カンファレンス

収縮が良ければ心臓は大丈夫か?

一般的に心不全といえば左心室の収縮力(左室駆出率 EF; Ejection Fraction)の低下による心不全(HFREF; Heart Failure with Reduced EF)がイメージしやすいのですが、一般臨床ではEFが保持されている心不全(HFPEF; Heart Failure with Preserved EF)が心不全症例の約半数に存在します。HFPEFは高齢者(高血圧や糖尿病を合併していることが多い)に特徴的な病態で、左心室の心筋が肥大や線維化によって拡張が

出来ないこと(拡張障害)や末梢血管の動脈硬化による末梢血管抵抗の上昇によって左心室に負荷がかかることが主な原因とされています。突然、急激な血圧上昇と肺水腫による心不全を発症し呼吸困難に陥る場合があり、注意が必要です。エビデンスのある治療法はないのが現状ですが、日頃から基礎疾患の治療と降圧薬や体液バランスの管理による血圧コントロールが重要と考えます。

【循環器内科: 政田 賢治】

脳心臓血管センター長: 上田 浩徳